

# 不退転

第 178 号  
東江中学校  
校長 神元 勉

## 生活目標の発表

■1月の生活目標の反省:健康食育委員会  
皆さん、インフルエンザに罹<sup>かか</sup>った人が、1回クシャミをしたら、ウィルスは何個飛び散ると思いますか?何と5秒間で教室に200万個のウィルスが飛び散ります。では、1回咳<sup>せき</sup>をしたら何個飛び散ると思いますか?5秒間で10万個です。

このことから、教室の空気を入れ換えることの大切さが分かります。授業中も、教室の4隅を10cmくらい開けて、空気の流れを作っておきましょう。教室の換気をすることで、気温が下がり、体が冷えてしまいます。体温を下げないために、①温かい下着を2枚着る。②カイロを使用する。③靴下を2枚はく。④靴の中敷きを使用するなどの寒さ対策をしてください。



■2月の生活目標の発表:放送人権委員会  
今月の生活目標は、「日々の感謝を伝えよう、ありがとうレター」です。日頃お世話になっている先生、家族、級友などに感謝の気持ち伝えるために、「ありがとうレター」を実施します。お世話になった小学校の先生や遠い所に住んでいて手渡できない場合は、放送人権委員会が郵送します。

「名護市内中学3年生応援プロジェクト」が新聞で紹介されました。受験生にとって、勇気100倍のとても有り難いプロジェクトですね!!

## 地元飲料で受験生応援

### 名護・勝山シークワサー 中3生に提供



名護市内の中学3年生にジュースを無料配布した勝山シークワサーの(左から)山川良勝会長と安村弘充社長、安村和江さん

【名護】シークワサー果汁を製造する勝山シークワサー(名護市)は5、6の両日、同市内の全中学校8校の3年生673人の受験を応援しようと、同社製造のジュース「すっきり!さわやか!seasun」を無償提供した。安村弘充社長(64)らが各校を訪れジュースを職員らに手渡した。安村社長は「勝山シークワサーの『勝』という文字にちなんで、受験に勝ってほしい」と受験生たちにエールを送った。ジュースの提供は、昨年(2016年)に続き2回目。昨年の配布後には、ある学校の生徒全

員が書いた手紙をもらったといい、手紙には「シークワサーを飲んで合格します」などの言葉がこぼれ出ている。ペットボトルには「受験に勝つ 己に勝つ 勝山シークワサーは受験生を応援します」と書かれたシールが貼られている。同社の山川良勝会長(73)は「工場は国や県、市からの補助を一部受けており、地域に何らかの形で還元したかった。子どもたちに地元の特産を味わってほしい」と話した。

## 琉球新報

琉球新報 2018年2月12日

### ありがとうございました!!

2月14日は、「バレンタインデー」。後顧<sup>こうこ</sup>の憂<sup>うれ</sup>い(後日の心配)を絶つため遠征する兵士の結婚を禁じたローマ皇帝クラウディウスに反対したバレンタイン(ヴァレンティノス)司祭が処刑された270年2月14日の記念日と、この季節に木々が芽吹き小鳥が発情することが結合した風習といわれる。初めは親子が愛の教訓と感謝を書き記したカードを交換する習慣だったが、20世紀になって、男女が愛を告白して贈り物をしたり、とくに女性が男性に愛を告白する唯一の日とされるようになった。日本では1936年(昭和11)と52年(昭和27)ころに、神戸の「モロゾフ」がチョコレートを贈る風習の移入を計画したが発展せず、一方関東で1958年、東京の洋菓子商「メリーチョコレートカンパニー」により、女性が男性にチョコレートを贈る風習が始められ、年ごとに盛んになった。[佐藤農人]  
 <日本大百科全書(ニッポニカ)の解説>